

会員の皆さん、こんにちは。全日特別顧問、全日みらい研究所所長の毛利です。

4月に発足したみらい研では、先ず空き家問題を取り上げ、今日社会問題化している空き家の増大に我々が提供できるソリューションは何か、また空き家固有の課題は何か、会員の立場に立って改めて掘り下げて調べる目的で、過日アンケートを行いました。

一月後に締め切らせて頂いたところ、180件の貴重な回答が全国から寄せられました。ご多忙の中、アンケートにご協力いただきました会員の方々、地方本部の役員と職員の皆様に改めて御礼申し上げます。

早速分析を始めていますが、既に興味深い事実がいくつか見えてきています。例えば、行政からの依頼が取引のきっかけになったケースほど、財政的な支援など行政側の支援への期待が大きいこと、物件や環境に課題があって取引が成立しなかったケースも多いこと、またそのようなケースを中心に報酬への問題意識も強いことなどです。

みらい研は会員への訴求力を高め、様々なご意見を適確にとらえて国等への要望として実現を目指していくため、発足致しました。今回のアンケート結果も、さらに分析と追加調査を通じて実態と課題を洗い出し、政策要望として国等へ実現を働きかける資料としたり、中期ビジョンに基づく全日空家対策大全(仮称)の策定に繋げてまいります。

引き続きの皆様のご理解とご協力をよろしくお願い申し上げます。

依然、新型コロナウイルスとの闘いが続いておりますが、会員とご家族の皆様におかれては、どうかご自愛ください。

まずは、空き家調査へのご協力の御礼とご報告まで。

2020年8月吉日

全日みらい研究所 所長 毛利信二

